

News Release

2015年4月1日

報道関係 各位

コカ・コーライーストジャパン株式会社

コカ・コーライーストジャパン、仙台コカ・コーラボトリングとの 事業統合とグループ会社の集約を完了

中期戦略、「成長に向けた One+ロードマップ」の推進を加速

コカ・コーライーストジャパン株式会社(本社:東京都港区赤坂、代表取締役社長:カリン・ドラガン、以下、CCEJ)は、本日、仙台コカ・コーラボトリング株式会社との事業統合を完了し、コカ・コーラ社製品および他社製品を取り扱う自動販売機オペレーター事業会社等を統合したFVEイーストジャパン株式会社(以下、FVEJ)の発足を発表しました。

仙台コカ・コーラボトリングとの事業統合により、CCEJは関東・東海・南東北地域の1都15県、人口約6,600万人を抱える、巨大かつダイナミックな市場で事業を展開する、日本最大のコカ・コーラボトラーとしての地位をさらに強固なものとし、引き続き日本のコカ・コーラボトリングビジネスの変革をリードしてまいります。そして、新たな仲間となった仙台コカ・コーラボトリングとともに、ワールドクラスの日本のコカ・コーラボトラーを目指した中期戦略「成長に向けたOne+ロードマップ」を引き続き強力に推進してまいります。

また、グループ会社の迅速な統合を進めた結果、FVEJの発足により、CCEJ発足時に26法人に及んだグループ会社のうち23社の統合を完了し、経営構造の簡素化と事業機能(ファンクション)毎の組織構造への転換がさらに進みました。

■当社グループの統合推移

2013年 7月 CCEJ発足

2014年 1月 製造会社 4社をCCEJPIに統合

7月 物流・機器メンテナンス会社 7社をCCEJPIに統合

2015年 1月 事業会社 4社(CCCJ,三国社、東京社、利根社)をCCEJに統合

4月 仙台コカ・コーラボトリングとの事業統合

4月 当社製品および他社製品を取り扱う自動販売機オペレーター事業会社等 8社をFVEJに統合

■【コカ・コーライーストジャパン株式会社の概要】

コカ・コーライーストジャパン株式会社(銘柄コード:東証 1部 2580)は、コカ・コーラ社製品の製造・販売を担うコカ・コーラボトラーとして国内最大の年間売上高を誇ります。

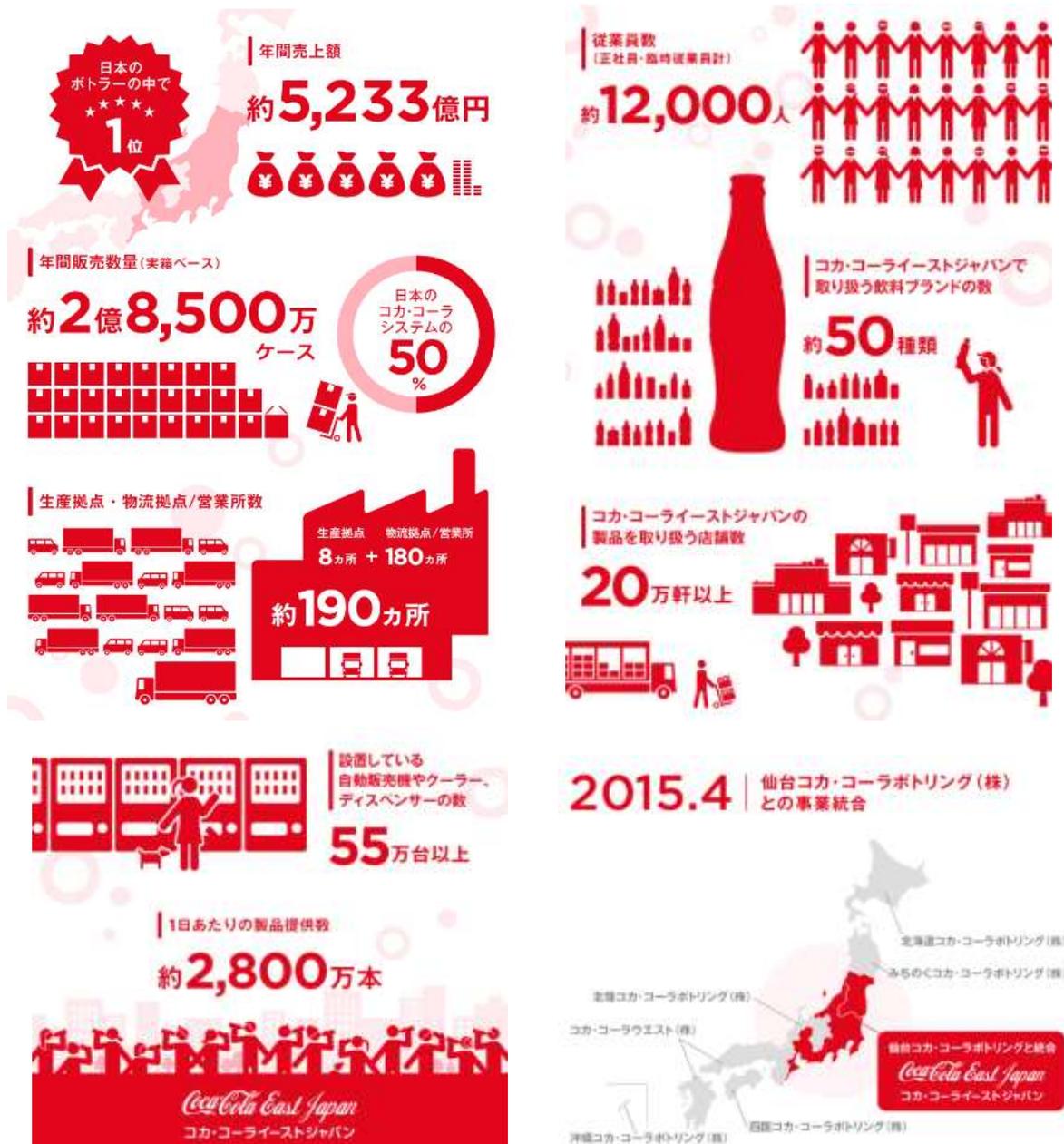
「コカ・コーラ」「コカ・コーラ ゼロ」「ジョージア」「い・ろ・は・す」をはじめとする、無糖茶、ジュース、スポーツドリンク、エナジードリンク、その他の炭酸飲料など、約50種類のコカ・コーラブランドの飲料を

お客様にお届けしています。

コカ・コーライーストジャパンは、2013年7月1日、関東・東海地域(1都12県)のコカ・コーラボトラー4社(コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社、三国コカ・コーラボトリング株式会社、東京コカ・コーラボトリング株式会社、利根コカ・コーラボトリング株式会社)の経営統合により誕生しました。

2015年4月1日には仙台コカ・コーラボトリング株式会社を事業統合し、南東北地域(宮城県・福島県・山形県)を含む1都15県を販売エリアとするコカ・コーラボトラーとなりました。

詳細は、コカ・コーライーストジャパンの WEB サイトをご参照ください。(www.ccej.co.jp)



※詳細は、コカ・コーライーストジャパンの WEB サイトをご参照ください。 www.ccej.co.jp/